



WORLD
HERITAGE

聖ミハエリス教会 ヒルデスハイム



ようこそミハエリス教会へ、

福音ルーテル聖ミハエリス教会によくいらっしゃいました。ここで、皆様が求め探している何かを見つけることができたらとても嬉しく思います。教会をごゆっくりご覧になりながら、この独特の雰囲気をお楽しみ下さい。そして日常を超えた不思議な発見ができるように、心を開いてください。

聖ミハエリス教会は1000年前から祈りの場所であり、修道士とすべての信者たちの祈りで満ちています。感謝と嘆き、願いと希望が昔と変わらず、この教会で見出すことができます。教会の静かな雰囲気を守り、お静かにお願いいたします。素晴らしい時間が過ごせますように。

ヒルデスハイム聖ミハエリス教区民、教会委員会、主任司祭館

歴史

ベルンヴァートは（993－1022年: ヒルデスハイム司教）、996年にミハエリス丘にベネディクト修道院を設立しました。皇帝オットー三世の教育者であったベルンヴァート司教はその任命式にオットーからキリストの十字架の一部を寄贈品として受けました。

1010年に、ミハエリス教会の基盤が築かれました。1022年に教会が完成し、ベルンヴァート司教は「大天使ミハエルと天国の天使たちの保護の下で、我らの救い主イエスキリストと聖なる永遠の処女マリア、そして救いをもたらす聖なる十字架に敬意を表すため」祝祷を捧げました。

当時、教会の中心は祭壇とその上にあったベルンヴァートクロスでした。このクロスの中にはキリストの十字架の一部が納められていました。（現在は大聖堂博物館に展示されています。）ベルンヴァート司教は1022年に亡くなり教会地下聖堂（クリプタ）に埋葬されました。1192年にベルンヴァート司教が聖人の地位にあげられる前に12世紀の半ばごろから大々的な修復と改築が行われました。その中には天使の柵、教会の円柱、木天井の絵など

はそのまま残りました。

1542年に聖ミハエリス教会はプロテスタントになりましたが、ベネディクト修道院はそのまま残りました。クリプタでは修道士たちは祈りを続けました。クリプタは今日までカトリックのままになっています。聖ミハエリス教会は二つの宗派を持った教会であり、このような教会はドイツで64あります。修道院は1803年に国有化され、1809年に教会は閉鎖されました。教会は干草小屋などとして使われ、1827年からは修道院は精神科の病院として使われ、教会内は遊技場やドイツ式ボーリング場として利用されました。1844年に教会は再びプロテスタントに戻りましたが、教会の建物の維持状態は非常に悪いものでした。1855/57年と、1907/1910年に大々的な改修が行われ、ミハエリス教会は取り壊しの難を逃れました。

1943年にナチス親衛隊の養成所が修道院の建物の中で建られましたが、その前に470人の患者たちは強制収容所に送りられ、処刑されました。1945年3月22年、教会は爆撃により、全焼しました。しかし、1942/43には木の天井は取り外され、天使の柵は壁に埋め込まれました。1945年には既に教会の再建が始まり、1960年に完成しました。その際、本来のベルンヴァート司教の建築構想は大部分取り入れられました。

外部構造

聖ミハエリス教会はバジリカで、ギリシャのダブルクロスの形をしていて、二つの袖廊をもち、それぞれ東側と西側に聖堂内陣があります。両側のフィーリング（袖廊と身廊の交差した部分）はどっしりとした塔になっています。二つの袖廊の両側にはそれぞれ階段のある塔がついています。西側のには地下聖堂があり、東側の聖堂内陣より際立っています。

内部

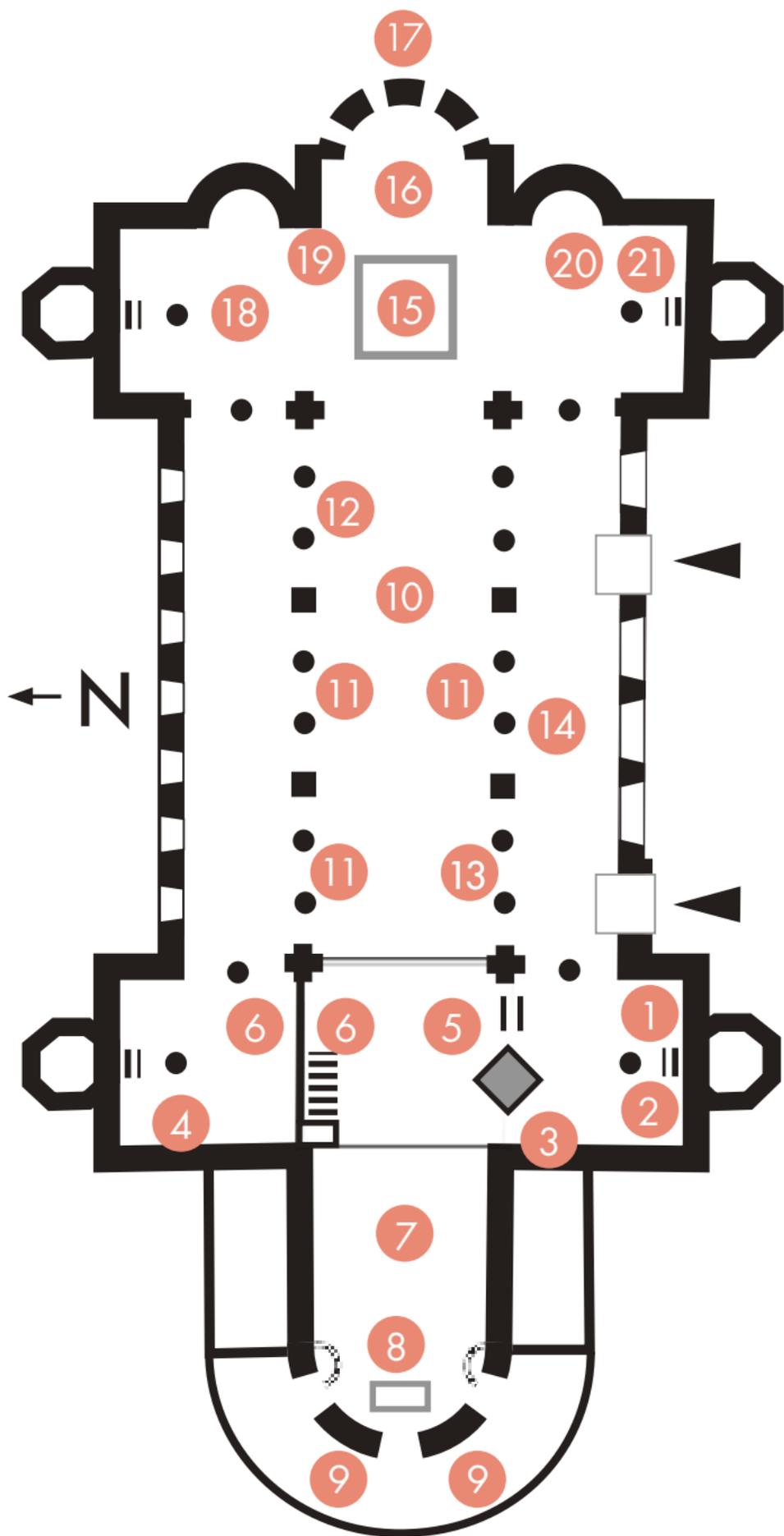
聖ミハエリス教会の設計図は3 x 3の正方形が基礎になっています。（袖廊と身廊にそれぞれ三つずつあります）。3という数字は三位一体を表しています。9という数字は中世において天使の規律の数字を表しています。それぞれの袖廊の端には2段の高座があり、合計8つからなっています。それぞれの高座には天使の祭壇があります。9つ目の祭壇（大天使ミカエルの為の祭壇）は東側に置かれています。身廊の柱の1 2という数字はキリスト教の教区民としての1 2の使徒を表現しています。数字の意味はそれぞれの箇所において見つけることができます。

クリプタ（地下聖堂）

ベルンヴァート司教の墓は3身廊からなる天井の低い西側のクリプタにあり、石棺は当時そのままの簡素なもので、石棺の蓋には炎の中の9人の天使の彫刻が施された大変装飾の多いものです。石棺の上部に置かれた墓板には十字架と神の子羊と福音書を描いたシンボルがついています。この墓版は現在、祭壇として使われています。宗教改革の行われた時期にはプロテスタント教会とカトリックのクリプタの通廊は壁で仕切られました。1978年になってから初めて南側の通路が、2006年に北側の通路が開かれました。こうして教会とクリプタが全体としての統合され、再びアンサンブルとして楽しめる様になりました。

木の天井

聖ミハエリス教会の最大の芸術作品は13世紀前半に描かれた木の天井の絵画で、キリストの家計図をあらわしています。Jesseboomはダビデ王の父、エッサイから始まっています。西から東に伸びている中央の部分にはアダムとエバ、エッサイ、ダビデ王、ソロモン王、ヒゼキア、ヨシヤ、マリアと玉座に座ったキリストが描かれています。四角形の中には預言者をあらわし、円形の部分にはイエスの先祖が示されています。楽園の図には楽園を流れる川のシンボルが表現されています。キリストの図には大天使が描かれています。そして角の部分にはエヴァンゲリストとそれらのシンボルが描かれています。



回廊

現在残っている13世紀の回廊の別棟は外側からだけ見学できます。教会の東側から中庭に入ると見ることができます。

1. ベルンヴァート司教の礎石、1010年
2. 教会の再建に貢献したB.A.アームル（在米ユダヤ人）の記念碑
3. ベルンヴァート司教の墓のある地下聖堂への通路、1022年
4. フォン・ボースマー家の碑、1625年
5. オルガン（G.ヴェール作）、1999年
6. 天使の装飾のある内陣を仕切る柵、1200年頃
7. ベルンヴァート司教の墓碑銘、14世紀
8. 後期ゴシック様式のマリアの祭壇、1520年ごろ
9. 天使の窓（クローデル作）、1965年
10. 木の天井、13世紀前半
11. 後期ロマンネスク様式の円柱、1200年頃
12. ベルンヴァート式の2つの円柱、11世紀初頃
13. 20世紀に再建された円柱
14. 真福九端（アーケードを飾る装飾）、1200年頃
15. 祭壇、説教壇、聖書台（鉄製、T.ドゥッテンヘーファー作）、2008年
16. キリストの磔像（鉄製、T.ドゥッテンヘーファー作）、2008年
17. テンドグラスのガラス窓（G.ハウスマン作）、1966/71年
18. ブロンズの洗礼盤（D.メンテ作）、1618年
19. 燈明台（H.ハイバー）、1978年
20. ベルンヴァート司教の胸像、12世紀末（西側の聖堂内陣の外側にあったもの）
21. 砂岩の碑、1200年頃（西側の聖堂内陣の外側にあったもの）

07/2015 (JK)

Web Edition: 2024

© Michaelisgemeinde Hildesheim